

目 的

近年、マス類生産の約 7 割を占める管理釣り場向けの活魚では、引きの強さや身姿の美しさからサクラマスの人気が高まっている。しかしながら、サクラマスは 1 年魚で一部の雄個体、2 年魚では雌雄共にほぼ全ての個体が成熟し死亡する。このことから、サクラマスはニジマスと比較して大型個体の養成や商品としての取り扱いが難しいことが欠点となっている。

そこで、全雌三倍体サクラマスの作出により上記の欠点の克服を試みることにした。全雌三倍体魚の作出には性転換雄を作出する必要があるため、今年度は MT の投与条件について検討を行った。

材料および方法

供試魚 9 月 7 日に採卵した全雌二倍体サクラマスを使用した。

試験区設定 性転換雄の誘導には孵化から浮上までの期間に週 2 回、2 時間 MT 溶液に浸漬し、その後 60 日間 MT を添加した飼料を給餌した。浸漬溶液の MT 濃度および飼料の MT 添加濃度については表 1 のとおりである。

表 1 試験区設定

試験区	供試尾数(尾)	MT溶液浸漬濃度(μg/L)	MT添加濃度(ppm)
1	300	1	0.1
2		1	0.5
3		1	1
4		10	0.1
5		10	0.5
6		10	1

結果および考察

10 月 7 日にほぼ全数が孵化し、MT 浸漬を開始した。浮上まで合計 7 回の浸漬を行った。今後育成し、性転換率を確認する予定である。

(水産研究部)